

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL019-671-2244 FAX019-671-2243

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

紫波町は、循環型まちづくりの一環として、平成12年度から公共施設の建設に町産木材を積極的に活用し、森林資源循環に取り組んできました。今号では、その取組みを紹介します。

町全体の60%を占める森林は、現在、間伐の適齢期を迎えています。しかし、国産材の価格低迷や林業の担い手不足により手入れが行われない状況が続いています。そこで、町は、町産木材を積極的に活用することで、林業の活性化、森林の機能維持と活性化が図られると考えました。

また、建築にあたっては町外の業者ではなく町内の業者が携わることにより、お金が地元で回る「地域経済の循環」も図り、この2つの

循環が成り立ちました。さらに、建築の現場では、ベテランと若手の大工さんが組み、無垢材の建築という技術の伝承も行われたということです。



〇〇〇紫波中央駅待合施設〇〇〇



平成13年度に紫波町の玄関口として建てられました。紫波中央駅は、請願駅として町や町民の寄付で平成10年に開業し、今年3月には開業20周年を迎えました。当初は、無人駅ということで待合施設はありませんでしたが、森林資源循環と循環型まちづくりのPRを兼ね、町が待合施設を整備しました。天井には樹齢120年の南部アカマツの梁(はり)をあらわし(天井を張らずに梁を見せる手法)で使用し、中央にはスギ材を利用した大型曲線ベンチ

が据えられています。構造材にはアカマツ、クリなどの町産無垢材を使用しており、集成材は一切使われていません。

オガールエリアの開発などにより町内外の利用者が増え、3月には有人駅となりました。待合施設には、町が雇用している管理人もおり、いつもきれいな施設として評判です。これからも町のあゆみをゆったりと見守り続けてほしいものです。

〇〇〇紫波町立上平沢小学校〇〇〇

平成14年に完成しました。造作材、構造材、すべて町産の無垢材を使用しています。樹種は、スギ、カラマツ、アカマツ、クリです。玄関を入ると、広々とした約100坪の多目的ホールがあり、包み込まれるような木の香りとあたたかいアカマツの色も相まって、温もりと優しさが感じられます。

音楽室には、上平沢小学校の保護者や地元住民が学校林として大切に育てていたスギを使用し、音の反響も考え設計されています。梁材は稲のはせがけをイメージ。また、児童用の机・椅子も校舎新築にあわせて町産木材で新調されました。

暖房設備は、ペレットボイラーを導入し、森林資源循環と地球温暖化対策にも十分配慮されています。



〇〇〇紫波町立虹の保育園〇〇〇

平成15年に完成しました。造作材と構造材は、すべて無垢の町産木材です。樹種は、アカマツ、スギ、カラマツ、クリを使用しています。遊戯室の天井の大梁7本は、保育園近くの山林から伐採された樹齢200年の南部アカマツが使われています。廊下ホールの天井には北斗七星の輝き、ベンチのある廊下の壁面には紫波の山並み・動植物など、子どもたちに自然を感じてもらえるようなデザインが随所に盛り込まれています。

暖房設備はペレットボイラーを導入し、子

どもたちの安全に配慮して床暖房が採用されています。



〇〇〇紫波町立星山小学校〇〇〇

平成18年度に完成しました。平成19年2月から児童の学び舎となっています。町産木材をふんだんに使い、樹種は、スギ、カラマツ、アカマツ、ツガです。玄関には、樹齢120年、直径50cmの柱が出迎え、木材と白い壁がバランスよく配置され、明るい印象を受けます。丸窓・三角窓や、赤く塗った丸柱、踊り場のベンチなど、遊び心のある形や空間が楽しめます。また、歴史を引き継ぐ

というねらいから、旧校舎の板材を新しい放送室の腰壁に利用するなど五感に訴えることで、木の豊かさを感じて欲しいとの願いが込められています。町産木材を使用した木製の机・椅子で児童は学び、暖房設備はペレットボイラーを導入し、森林資源循環と地球温暖化対策にも十分配慮されています。



〇〇〇紫波町環境・循環 PR センター〇〇〇

この施設は、町が取り組む「循環型まちづくり」の理念を共有するNPO法人紫波みらい研究所の提案により、多くのボランティアや町内業者の協力のもとに平成17年10月に完成しました。平成16年9月に火災に遭った木造公共施設の焼失した木材を再加工したものを主な材料としており、不足する物は町が補てんし、建築されました。

現在は、紫波町の観光・歴史をPRする「一般社団法人紫波町観光交流協会」、農村体験型の観光を進める「紫波ツーリズム協議会」、環境学習など独自の活動を行う「環境マイスター紫波」、「一般社団法人地域パートナーシップ支援センター」、「NPO法人紫波みらい研究所」が事務所を共有し、町の情報発信や環境学習の場として利用しています。

また、センター内の暖房は、ペレットストーブを使用しており、地球温暖化対策と木質バイオマスの利用促進・PRも行っています。



〇〇〇紫波町役場庁舎〇〇〇

木造3階建ての国内最大級の木造庁舎です。木造部分の構造材に100%町産のカラマツを活用、下地合板や仕上げ木材にいたるまで町の豊かな森林資源を活用した「木質資源循環のまちづくり」を体現した庁舎です。建設にあたっては、民間企業の経営上のノウハウや技術の活用、また、設計・建設・運営維持管理を一体的に行うPFI事業によって、

事業コストを削減しています。

庁舎内の冷暖房は、民間企業が運営する外部のエネルギーステーションから、木質バイオマスエネルギーを活用して作られた暖房用温水・冷房用冷水の供給を受け稼働しています。また、雨水のトイレ洗浄水利用や太陽光発電システムの設置により、自然エネルギーを有効利用する機能も備えています。



●循環型まちづくり施設見学会●

～公共施設の見学をしてみませんか～

紫波町の森林資源を活用した木造公共施設などの見学ができます。地域や団体の研修会などにご利用ください。

<見学できる施設>

- 公共木造施設：紫波中央駅待合施設、虹の保育園、上平沢小学校など
 - 再生可能エネルギー施設：ラ・フランス温泉館、オガール等
 - 堆肥・ペレット製造施設：エコ3センター
- 日程・ルート・交通手段・昼食場所などについてはご相談ください。

【申込先】NPO法人紫波みらい研究所

【連絡先】019-671-2244

●着物リメイク講座●

タンスに眠っている着物を上着やワイドパンツに作りかえてみませんか？みんなで楽しみながら作りましょう！

○講師 環境アドバイザー 小赤澤 直子

○日程 (全5回)

6/14 (木)、7/12 (木)、9/13 (木)、10/11 (木)、11/8 (木)

○時間 10時30分～15時

○場所 紫波町情報交流館
大スタジオ

○参加費 1回1,000円

○持ち物 リメイクする着物、
ミシン、ソーイングセット

○締切 6月8日(金) 先着15名

【申込先】NPO法人紫波みらい研究所



好評につき、品切れしていましたが段ボールコンポストのキット販売を再開しました。環境課、紫波みらい研究所で販売しております。

めぐりっと紫波は、紫波町産業部環境課の委託で発行しています。